

「兆しレポート」のとりまとめについて 企業変革に向けた X-Tech の兆し

近年の気候変動リスクやデジタル化、ライフスタイル・価値観の多様化といった事業環境変化を背景として、企業は自社の経営の変革が求められています。中部経済産業局では、こうした企業変革に向けた一つの方法としてX-Tech（クロステック）※に着眼し、中部地域の企業の取組実態をヒアリングを通じて把握するとともに、取組の課題やポイントを取りまとめました。

※本レポートでは、テクノロジーの活用による価値創出を通じて、社会や産業における諸課題の解決と企業の変革を実現しようとする取組をX-Tech（クロステック）と捉えています。

1. X-Tech の取組の実態把握、課題抽出

X-Tech に取り組んでいる中部地域の企業からのヒアリングでは、生き残り戦略の一つとして取り組んでいるとの声や、マインドセット改革、既存事業とのシナジー等を重視する声が聞かれました。これらの声を基に、X-Tech の取組の課題を抽出しました。

2. 中小企業における X-Tech の取組事例、取組推進のポイント

中小企業が X-Tech の取組を推進する上で重要となる点を深掘りするため、中部地域における実際の X-Tech の取組事例、及び企業の取組推進に資する地方自治体の支援事例を取り上げました。「経営者自身による変革の体現」、「産学官等の外部ネットワークの活用」等、取組推進のポイントを抽出しました。

（事例掲載企業等）

茶久染色株式会社、株式会社アイエスイー、ナゴヤホカンファシリティーズ株式会社、大府市（※東浦町と推進するウェルネスバレー推進協議会）

3. X-Tech の取組の課題対応の方向性

1. 及び 2. を踏まえて、中小企業が自社の既存の事業領域にとらわれず X-Tech の取組を進めるためには、経営者層がスタートアップや大学等の外部組織と積極的に関わる中で、取組課題を察知すること、不足する技術やリソースを補完することが重要であることなど、課題対応の方向性について考察しました。

（お問合せ先）中部経済産業局 企画調査課長 浅井 担当：佐藤
電話：052-951-2723（直通）